

利用案内

改修工事による休館のお知らせ

平成22年11月15日(月)から平成23年2月28日(月)までの期間、研修室・実技研修室・体育施設・宿泊室など全施設の利用を休止しての改修工事を行うことになりました。改修工事では研修室および宿泊室の空調整備等を行い、今までよりさらに快適にご利用いただけるようになります。

ご利用の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

詳細については、予約係までお問い合わせください。

申込専用電話：0493-62-6723

ファックス：0493-62-6720

ホームページ：http://www.nwec.jp/

E-mail：yoyaku@nwec.jp(予約専用)

休館日(平成22年8月～23年12月)

平成22年

8月の休館日はありません／9月6日(月)
10月4日(月)・18日(月)／11月15日(月)～12月31日(金)

平成23年

1月1日(金)～2月28日(月)／3月7日(日)・14日(月)
4月の休館日はありません
5月9日(月)・16日(月)／6月20日(月)／7月4日(月)
8月の休館日はありません／9月5日(月)・26日(月)
10月3日(月)・17日(月)／11月7日(月)・21日(月)
12月5日(月)・19日(月)・26日(月)～31日(土)

＊臨時に休館させて頂くことがありますので、
会館ホームページ等でご確認ください

主な利用団体(平成22年4月～5月)

4月 2日～ 4日 埼玉県立松山女子高等学校
4月 3日～ 4日 源リウ会
4月 4日～ 5日 東京電機大学ロボットメカトロニクス学科
4月 5日～ 6日 国土館大学理工学部健康医工学系
4月 5日～ 6日 国際短期大学国際コミュニケーション学科
4月 7日～ 8日 大東文化大学文学部書道学科
4月 9日～10日 お茶の水女子大学
4月10日～11日 大東文化大学外国語学部日本語学科
4月10日～11日 大東文化大学文学部教育学科
4月11日～12日 大正大学
4月14日～15日 東京医療保健大学
4月15日～17日 星美学園高等学校
4月15日 埼玉県教育局西部教育事務所
4月15日～16日 富士重工業健康保険組合太田高等看護学院
4月16日～17日 十文字学園女子大学短期大学部文科学科英語英文専攻
4月17日～18日 大東文化大学文学部日本文学科
4月17日～18日 東京女子大学現代教養学部人文学科日本文学専攻
4月19日～20日 細田学園高等学校
4月20日～21日 群馬県立太田女子高等学校
4月21日～23日 太田看護専門学校

4月22日～23日 東京都立世田谷総合高等学校
4月22日～23日 桐生大学短期大学部専攻科助産学専攻
4月22日～24日 大妻嵐山高等学校
4月24日～25日 大東文化大学外国語学部中国語学科
4月26日～27日 蕨戸田市医師会看護専門学校
4月27日～28日 白梅学園大学子ども学部発達臨床学科
4月28日～30日 大宮歯科衛生士専門学校
4月28日 城西短期大学
5月 2日～ 3日 俳人協会埼玉県支部
5月 4日～ 5日 駒澤大学合唱団
5月 4日～ 5日 北陸高校バスケットボール部
5月 6日・7日 埼玉県立滑川総合高等学校
5月 8日 北部ブロック幼稚園協会
5月12日～13日 川口市立看護専門学校第2看護学科
5月22日 埼玉県私立幼稚園連合会
5月23日～24日 東京大学高齢社会総合研究機構
5月24日～25日 人間総合科学大学
5月24日～26日 世田谷中央看護高等専修学校
5月28日～30日 社団法人国際女性教育振興会
5月28日 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会

寄附金等受け入れの報告

団体や個人の方々から寄附金をいただきました。
(敬称略・順不同)

団体 社団法人日本原子力学会／東洋製作所
地方自治体女性管理監督者研修会
30周年記念事業推進本部
ヌエックサポートネット

個人 小林正一／山岸美津子／神田道子

寄附金等受け入れの報告

ヌエックではより充実した業務遂行のための経費に充てるため、寄付金を含む外部資金を受け入れております。今後とも事業の充実、運営の改善及びサービスの向上に努めてまいります。皆様方の暖かいお篤志を賜りますよう、なにとぞよろしくお願いします。

●寄附金に対する問合せは総務課へ

一定の金額までの寄附金については、法人及び個人の場合ともに税法の規定により所得から控除されます。

編集後記

ヌエック Newsを1年ぶりに発行することができました。平成21年度から年2回の発行となりましたが、平成22年1月号の発行ができず、読者の皆様にはご迷惑をおかけしました。これからも引き続き、会館が実施しているさまざまな事業や新たな取り組みについて情報を提供していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。

国立女性教育会館のよりホットな情報をご希望の方は、毎月1回インターネットで配信していますメールマガジン「NWECだより」への登録をお願いします。詳細はホームページをご覧ください。

http://www.nwec.jp/jp/topics/mailmag/

ヌエックニュース第126号

平成22年7月26日発行

編集・発行 独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728

(事業課) TEL. 0493-62-6725 (研究国際室) TEL. 0493-62-6479
FAX. 0493-62-6720 FAX. 0493-62-9034

(情報課) TEL. 0493-62-6727 (総務課) TEL. 0493-62-6714
FAX. 0493-62-6721 FAX. 0493-62-6722

ホームページ URL: http://www.nwec.jp/

E-mail: webmaster@nwec.jp

ヌエック
News

National
Women' s
Education
Center News



2010/7/26

第126号

国立女性教育会館

ISSN 1343-4926



Contents

理事長あいさつ	2	トピックス	8
平成22年度国立性教育会館事業計画	3	・神田理事長が内閣総理大臣表彰受賞	
事業の予告・募集	4	・カンボジア王国女性省協定締結	
・男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム		調査研究・事業布告・資料の作成	10
・女性関連施設相談員研修		・研究ジャーナル14号	
・配偶者からの暴力被害者支援セミナー		・「国立女性教育会館ミニ統計集 日本の女性と男性2009年」	
・女性のエンパワメント国際フォーラム		・平成21年度「地域活性化に向けた男女共同参画推進に関する調査研究」報告書	
・男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)		・平成21年度「女性のエンパワメント国際フォーラム」報告書	
事業の実施報告	6	情報ネットワーク	11
・嵐山さくらまつり 夢さくら 国立女性教育会館展望ツアー		女性アーカイブ	11
・家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー		お知らせ	12
・女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修			
・大学・研究機関のための男女共同参画推進研修			



さらなる連携、協働の広がりを

独立行政法人国立女性教育会館
理事長 神田 道子

今年もすでに半年がすぎ、7月に入っていますが「会館」は昨年11月11日におこなわれました公開仕分けの結果を踏まえて、息つく暇もなく、財政問題や事業運営に職員一同、全力でとりくんでおります。

「会館」は男女共同参画を学習・教育面から推進・支援するナショナルセンターとしての機能を充実するために研修、交流、調査研究、情報の収集・提供という四つの機能を持ち、かつ相互に関連させて事業を行うという独自性の高い特徴を、さらに充実させるとともに、他の機関等や関係の方々との連携、協働に力を入れて広がりを重視しています。

最近特に広がってきているのが大学等との連携、協働です。女子栄養大学、日本女子体育大学とは正式に協定を結んでいます。加えて新たな内容をもった連携、協働が進んでいます。その一つはアーカイブセンターの事業を通したものです。当会館では所蔵している資料の展示のほかに「チャレンジした女性たち」をテーマに企画展示を行っています。これまでに女子大学等を創設した女性たちやはじめ「博士」になった女性科学者など先駆者をとりあげてきました。その際、資料を拝借するなど関係のある大学にご協力をいただいております。今年も、連携、協働関係が広がっております。今年も「女性の実業教育のはじまりーチャレン

ジした女性たち」をテーマに企画展示を行う予定で準備をすすめており、さらに大学との連携、協働関係が広がってきています。

もう一つの連携、協働は学生を対象にしたキャリア教育です。現在埼玉大学との授業が行われています。埼玉大学の先生による特徴のある授業に加えて、当館が蓄積してきているアーカイブの資料や男女共同参画統計などを教材にして、人間関係をつくることを目的にしたグループ学習や宿泊学習を取り入れたものです。

9月には新たに埼玉県私立短期大学協会と連携したキャリア教育が予定されています。

大学との連携の外に、今年、新たなこととしては米国科学財団(National Science Foundation)との連携、協働で「女性研究者のエンパワメントと新領域創成に向けた日米シンポジウム」を行いました。(7月5日～7月7日) 新たな内容をもった国際的な広がりをもったものです。

「会館」は日本のナショナルセンターとして、内容面とともに連携、協働による広がりという点で、機能の充実に一步一步とりくんで参ります。

神田理事長が平成22年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。
詳細はP.8の「トピックス」をご覧ください。

平成
22
年度

独立行政法人

国立女性教育会館 事業計画 (8月以降の参加者を募集する事業)

男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する
喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発・普及

女子中高生夏の学校 2010
～科学・技術者のたまごたちへ～
(科学技術振興機構委託事業)

科学者・技術者、理工系大学生との対話、交流を通して女子中高生が科学・技術の分野に自分の新しい可能性を見いだすことをねらいとして、合宿形式の体験型サイエンスプログラムを実施する。あわせて、保護者、教員向けプログラムも実施する。

対象・募集人員 中高生 100名 保護者・教員 50名
科学・技術分野に興味・関心がある女子中学3年生・女子高校生、
保護者・教員

期 間 平成22年8月12日(木)～14日(土) ★2泊3日

男女共同参画のための研究と実践の
交流推進フォーラム(NWECフォーラム)

女性の多様なキャリア形成支援、次世代育成支援、ワーク・ライフ・バランス等喫緊の課題の解決に資するため、実践と研究に基づく相互交流を促進し、新たな人材の発掘・確保・育成の機会となるよう、ネットワークづくりを支援する。

対象・募集人員 1000名
女性団体等のリーダー、研究者、男女共同参画・女性教育・
家庭教育等の行政担当者、女性関連施設職員等

期 間 平成22年8月27日(金)～29日(日) ★2泊3日

男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)

女性団体等が相互に参加者同士の交流や情報交換を行える機会を提供し、団体のネットワークづくりを支援する。

対象・募集人員 100名
期間中、国立女性教育会館を利用する団体及び個人

期 間 平成22年11月8日(月)～12日(金) ★5日間

交流学習会議

地域における男女共同参画を推進するため、会館の研修・交流事業に参加した者に対するフォローアップの場として交流学習会議を開催し、女性関連施設等の関係機関、女性団体・グループ等との連携・協働の促進に向けての意見交換を行うとともに、ネットワークづくりを進める。

対象・募集人員 150名
会館の研修・交流事業参加者のうち地域でネットワークを構築している女性団体・グループのリーダー、男女共同参画・女性行政担当者、女性関連施設関係者等

期 間 平成23年3月11日(金)～13日(日) ★2泊3日

配偶者からの暴力被害者支援セミナー
(内閣府委託事業)

配偶者からの暴力の相談業務に応じる全国の地方公共団体の相談担当者等を対象に、相談事案の手続き等が円滑かつ迅速に対応できるようにするとともに、相談業務の質の向上を図ることを目的として以下のセミナーを行う。

基礎セミナー 各回 80名

相談担当者として必要な基礎知識と技術を習得するため、基礎的・実践的なセミナーを行う。

全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、配偶者からの暴力等に関する相談員等として経験年数が約2年未満の者

地域開催：大阪府 平成22年7月23日(金) 終了
(4カ所) 東京都 平成22年7月26日(月) 終了
宮城県 平成22年7月29日(木) 1日
福岡県 平成22年8月4日(水) 1日

応用セミナー 50名

高度な知識と技術を取得するため、専門的・実践的なセミナーを行う。

全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、相談員等として経験年数が2年以上の者

平成22年10月7日(木)～8日(金) ★1泊2日

管理職セミナー 50名

管理者として必要な知識と技術の向上を図るためのセミナーを行う。

全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同参画センター等において、配偶者からの暴力に関する相談事業を統括する立場の者

平成22年11月1日(月)～2日(火) ★1泊2日

女子学生就活支援者セミナー

厳しい雇用情勢下でも、女性のキャリア形成を促進しつつ、女子学生の支援機能の強化を図るための専門的・実践的な研修を行う。

対象・募集人員 80名

大学等の就職支援担当教職員等

期 間 平成23年3月3日(木)～4日(金) ★1泊2日

男女共同参画及び女性教育に関する国際貢献、
連携協力の推進

女性のエンパワメント国際フォーラム

女性の人権、女性の能力開発・人材育成等地球規模の課題をテーマに海外の専門家を招へいし、アジア太平洋地域の課題分析を行い、海外の研究者や行政関係者・女性団体等指導者との交流を深めるとともに、ネットワークづくりを進める。

対象・募集人員 120名

男女共同参画・女性教育・家庭教育等の行政担当者、女性関連施設職員、女性団体等のリーダー、研究者、国際交流・開発援助に関わる者、企業関係者等

期 間 平成22年10月9日(土) ★1日

男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム

～女性のエンパワーメントと男女共同参画社会づくり～ 平成 22 年 8 月 27 日(金)～29 日(日)

「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(NWECフォーラム)」の参加者を募集します。詳細は以下の通りです。研究・実践・学習を結び、男女共同参画社会の形成に向け、課題解決のヒントを見出すとともに、全国の参加者との交流を図りませんか。

会 場

国立女性教育会館

主な内容

○シンポジウム 「未来へのメッセージ ～男女共同参画社会への展望 一歩先に進むための関係づくり～」
シンポジスト 奥山恵美子 仙台市長
(50 音順敬称略) 西郷真理子 (株)まちづくりカンパニーシーブ・ネットワーク代表取締役
廣瀬 隆人 宇都宮大学生涯学習教育研究センター副センター長・教授

○テーマワークショップ(約 60 団体) ＊全国から募集した団体・文部科学省・会館提供のワークショップを実施します。

○情報交換、交流の場の設置、交流推進支援プログラム等多数

申込み先

国立女性教育会館事業課まで郵送かメールでお申し込みください。
要項と申込書は会館のホームページからダウンロードできます。
会館ホームページ：<http://www.nwec.jp/>

問い合わせ先

事業課
TEL：0493-62-6724・6725

女性関連施設相談員研修 平成 22 年 10 月 7 日(木)～9 日(土)

女性のエンパワーメント支援を目指し、複雑・多様化する女性の悩みに対応可能な相談業務の質の向上を図るための、専門的・実践的なセミナーを実施します。

会 場

国立女性教育会館

対 象 者

女性関連施設や民間が運営する相談所において、
女性の悩みに関する相談業務に携わる方

問い合わせ先

事業課 TEL：0493-62-6724・6725
お申込みや詳細は、会館ホームページ
【<http://www.nwec.jp/>】をご覧ください。

配偶者からの暴力被害者支援セミナー

内閣府からの委託を受け、配偶者からの暴力の防止と被害者の保護に資することを目的として、全国の地方公共団体の配偶者からの暴力被害相談支援関連施設において、被害者支援を担う担当者として必要な知識と技術の取得を図るための、専門的・実践的なセミナーを実施します。

基礎セミナー

各回 80 名程度

大阪府

7 月 23 日(金)
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)

東京都

7 月 26 日(月)
東京ウィメンズプラザ

宮城県

7 月 29 日(木)
仙台市男女共同参画推進センターエル・パーク仙台

福岡県

8 月 4 日(水)
福岡県男女共同参画センター(あすばる)

参加者

全国の配偶者暴力相談支援センター又は
男女共同参画センター等において、
相談員等として経験年数が 2 年未満の者

応用セミナー

50 名程度

期 日

平成 22 年 10 月 7 日(木)・8 日(金) ★1 泊 2 日

会 場

国立女性教育会館

参加者

全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同
参画センター等において、配偶者からの暴力に関
する相談員等としての経験年数が 2 年以上の者

管理職セミナー

50 名程度

期 日

平成 22 年 11 月 1 日(月)・2 日(火) ★1 泊 2 日

会 場

国立女性教育会館

参加者

全国の配偶者暴力相談支援センター又は男女共同
参画センター等において、配偶者からの暴力に関
する相談事業を統括する立場の者等

申込方法や詳細は、会館ホームページ【<http://www.nwec.jp/jp/program/invite/2010/page14.html>】をご覧ください。
問い合わせ先：事業課 TEL: 0493-62-6724・6725

「女性のエンパワーメント国際フォーラム」

～女性リーダーの育成に果たす教育の役割～ 平成 22 年 10 月 9 日(土)

「女性リーダーの育成に果たす教育の役割」をテーマに海外から専門家を招へいして行う「女性のエンパワーメント国際フォーラム」の参加者を募集します。

本フォーラムでは、カンボジア王国女性省大臣による基調講演のほか、フォーラムに先立って行われる「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」の研修生による各国の男女平等政策のポスターセッションも行います。

日 時

平成 22 年 10 月 9 日(土)
午後 1 時から午後 5 時 30 分

申込方法

10 月 5 日(火)までに
下記の方法でお申込ください。

対 象

テーマに関心のある方

募集定員

120 名(先着順)

使用言語

日本語・英語(通訳付)

参 加 料

無 料

主 催

独立行政法人 国立女性教育会館

後 援

独立行政法人 国際協力機構

会 場

独立行政法人 国際協力機構 JICA 研究所 2 F
国際会議場
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5
JR・都営地下鉄・東京メトロ「市ヶ谷」駅より徒歩 10 分

スピーカー

イン・カンタ・パビー(カンボジア王国女性省大臣)、
目黒依子(上智大学名誉教授・国連婦人の地位委員会日本代表)、
ヒュン・ジョン・ソン(韓国両性平等教育振興院 研究員)ほか

問合せ先

研究国際室 TEL 0493-62-6479・6437

男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)

平成22年11月8日(月)～12日(金)の期間らんざん交流ウィークとして、全国の地方自治体・女性関連施設・団体・グループ等が企画する研修・学習による利用を積極的に受入れ、男女共同参画に関する講演、講義、国立女性教育会館の施設や事業等に関する情報提供、施設見学等を行うとともに、各団体が相互に参加者同士の交流や情報交換を行える機会を提供します。

期間中、参加団体・グループの自由交流、会館提供の講義や見学など、お好きなプログラムへご参加ください。ご参加いただいた団体・グループにつきましては、研修室が無料、宿泊は 1 泊お一人様1,000円でご利用いただけます。
是非とも、研修の機会としてご活用ください。

プログラム 詳細については、現在検討中です。決まり次第ホームページ等でご案内いたします。

— 4 —

— 5 —

嵐山さくらまつり 夢さくら 国立女性教育会館展望ツアー

平成 22 年 4 月 3 日 (土) ～ 4 日 (日)

地元嵐山町で行われた「嵐山さくらまつり」への協力事業として、4月3日(土)、4日(日)の2日間にわたり「国立女性教育会館展望ツアー」を実施しました。

延べ12名の国立女性教育会館ボランティアの案内により、各日10時、13時、15時の計6回ツアーを実施しました。参加者は、8階建ての宿泊棟の屋上に上り、周辺の美しい展望と、都幾川沿いに2キロメートルにわたって植えられた252本の桜並木を眺望しました。天候不順により、うっすら色づくくらい桜並木でしたが、比企丘陵を背にした、都幾川の流れと田園風景は美しく、うっとりと思入る参加者の姿が印象的でした。その後、響書院や日本庭園等、館内をゆっくり見学し春の一日を満喫しました。

また、期間中、会館ボランティアによるお茶会も開催され、響書院での一服を楽しみました。

この展望ツアーにあわせて地元嵐山町の NPO 法人「自然の会 オオムラサキ」によるハイキング参加の方も会館を訪れ、国立女性教育会館を知ってもらうよい機会となりました。



▲周辺の自然について説明を受ける参加者



▲宿泊棟 A 棟屋上からの風景

家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー

平成 22 年 5 月 21 日 (金) ～ 22 日 (土)



▲分科会で「企業の社会的責任と父親の子育て参画」について語る渥美由喜氏

去る5月21日(金)～22日(土)の1泊2日で「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」を実施しました。

当日は、北は青森県から南は佐賀県まで132名が参加しました。

家庭教育・次世代育成に関する支援のあり方としては、社会全体で家庭・親等を支援することの重要性や「親が親として育つ」機会の確保が大きな課題となっています。

今年度は、「社会全体で子育てを支援するための環境整備 家庭の役割、支援者の役割」をテーマとして取り上げ、白梅学園大学の汐見稔幸学長の講演を始め、男性を含めた社会全体・地域ぐるみの次世代育成支援のあり方について事例研究や分科会での話し合い等、支援の方策についての討議を行いました。まとめの全体会では分科会の講師によるパネル・ディスカッションを行い各分科会の話し合いを共有しました。

家庭教育・次世代育成支援関係行政担当者、子育てネットワーク・サポーター等のリーダー、企業の次世代育成支援担当者、社会貢献活動担当者、女性関連施設職員・社会教育施設職員等、様々な立場の方々が一堂に会し、情報交換・交流を深める貴重な機会となりました。

女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修

平成 22 年 6 月 9 日 (水) ～ 11 日 (金)

6月9日(水)～11日(金)に「女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」を開催しました(女性関連施設管理職コースは全国女性会館協議会との共催)。全国から143名の参加者を得て、地域の男女共同参画を積極的に推進するリーダーとして必要な知識、マネジメント能力、ネットワーク力を身につけるための、専門的・実践的な研修を行いました。研修では、男女共同参画社会における現状と課題を明らかにし、組織の基盤強化や第3次男女共同参画基本計画に向けての取組等について、講義やワークショップを通じて学びました。第3次男女共同参画基本計画の中間整理では、女性関連施設・地方公共団体・民間団体の役割が記載されていることから、それぞれの今後の事業や活動の方向性について、活発に意見交換が行われました。参加者からは、「今抱えている課題への解決の糸口が見つかった。」「仲間が

増え、地域で実践するためのネットワークが広がった。」という感想をいただきました。



▲講義「男女共同参画社会形成に向けた今日の政策課題」

大学・研究機関のための男女共同参画推進研修

平成 22 年 6 月 24 日 (木) ～ 25 日 (金)

6月24(木)～6月25(金)の1泊2日で、「大学・研究機関のための男女共同参画推進研修」を行いました。北は岩手県から、南は鹿児島県まで70名が参加しました。本年度から始めた研修で、男女共同参画社会の形成に向け、大学・公的研究機関等の男女共同参画オフィスの管理職として必要な知識、マネジメント能力、ネットワーク力を身につけるための研修です。

参加者は、はじめに男女共同参画を推進する視点と大学・研究機関における男女共同参画の課題分析の講義を受け、現状及び問題点を把握・共有しました。その後、E U における女性研究者政策、大学におけるセクシュアル・ハラスメント対策、仕事と生活の両立についての講義で、基礎知識を学びました。

また、先進的なベストプラクティス研究として、大学も一つの中小企業であると考え、研究所を有する企業の事例と小規模企業の事例を聞きました。

分科会は、「男女共同意識を学内に浸透させるために」「研究者のワーク・ライフ・バランス支援」「女性医療職のライフプランニング支援」の3つに分かれて

ワークを行いました。

参加者からは、「男女共同参画は大学の戦略と捉え、トップの強い意思決定と全員参加が必要であることを知った。」「それぞれのコマがコンパクトにまとめられていて良かった。」「多方面との交流ができ情報交換することができた。」等の感想がありました。



▲「EU における女性研究者政策」について講義する小川真理子氏

トピックス

神田道子理事長が 「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞

平成 22 年 6 月 22 日 (火)

去る6月22日(火)、神田道子理事長は、首相官邸において「平成22年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

この表彰は、多年にわたり男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった方や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献してきた方などを顕彰することによって、豊かで活力ある男女共同参画社会の形成に資することを目的として内閣府が実施しているものです。

今回の表彰は、神田理事長が女性としては初の総合大学学長となる東洋大学学長として、女性問題に関する調査研究を深めるとともに、女性学における効果的・実践的理論の構築において積極的役割を果たしたことや、独立行政法人国立女性教育会館理事長として、女性のエンパワーメント、そして女性問題解決に資する学習等、関係者に対する研修、専門的な調査研究、情報の収集・提供など女性教育の振興を図るための活動に精力的に取り組んだこと、また、内閣府男女共同参画会議議員として、政府の男女共同参画基本計画(第2次)の策定に尽力し、男女共同参画に貢献したと評価されたことによります。



▲表彰を受ける神田理事長



▲懇談会での玄葉男女共同参画担当大臣と神田理事長

カンボジア王国女性省と交流と協力に関する協定を締結

平成 22 年 4 月 6 日 (火)

平成22年4月6日(火)に、カンボジア王国女性省と、交流と協力に関する協定を締結しました。

協定締結式は、埼玉カンボジア王国友好協会の招きで来日されたイン・カンタ・パビー大臣ご夫妻を会館に迎え、本館会議室にて執り行われました。神田理事長からこれまでの両機関の調査研究、研修、人的交流を通じた連携を経て協定締結に至った旨の挨拶に続いて、パビー大臣から協定を機に両機関の協力関係の一層の発展を期待したい旨の挨拶があり、協定書へ署名が行われました。

締結式の後、会館女性教育情報センターと女性アーカイブセンターを見学され、理事長主催の夕食会では、和やかな雰囲気の中で今後の協力内容について話し合いがもたれました。

両機関は、協定締結を契機として、男女共同参画及び女性教育に関する研究、情報交換等の事業交流及び人的交流を更に深めるほか、国際会議・セミナー等の開催について協力を行っていくこととしています。

会館が海外の機関と協定を結ぶのは、韓国両性平等教育振興院、韓国女性開発院、フィリピン大学機構、延辺大学に続いて5件目となります。



▲協定書を交換するイン・カンタ・パビー大臣と神田理事長

調査研究・事業報告・資料の作成

国立女性教育会館研究ジャーナル第14号刊行

『国立女性教育会館研究ジャーナル』第14号を刊行しました。

本誌は、又エックの調査研究事業の成果を発表し女性教育の進展に寄与するとともに、投稿論文を募集するなど生涯学習に関する研究の発表の場を広げることを目的として、開館20周年を機に創刊されました。

今号は、テーマを「女性の人権」とし、4本の投稿論文を初め、テーマに関連した特集、抄録、NWEC調査研究事業報告等を掲載しています。

なお、研究ジャーナルは、平成22年度から名称を改め、女性のエンパワーメント、男女共同参画の推進に関する研究報告、女性関連施設や女性団体の実践活動等を掲載する『NWEC実践研究』として発行する計画です。

研究ジャーナル第9号から第14号は有料で頒布しています。

詳細は研究国際室ジャーナル担当

TEL: 0493-62-6479 E-mail: rese@nwec.jp

までお問い合わせください。

また、創刊号から第13号の内容をホームページで閲覧できます。

<http://www.nwec.jp/jp/publish/record/journal.html>



「国立女性教育会館ミニ統計集 日本の女性と男性 2009年」発行

日本社会の重要な分野での女性と男性の状況を A人口・世帯、B教育、C生活時間、D労働と所得、E健康・安全・社会保障、F意思決定、G地位指標の7項目に分けたリーフレット「国立女性教育会館 ミニ統計集 日本の女性と男性 2009年」を作成しました。

データに基づいた現状を把握して、男女共同参画社会形成を進めるために、是非ご活用ください。

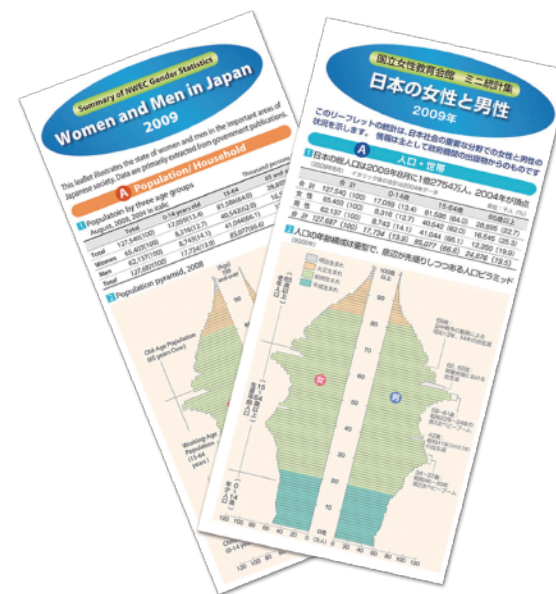
リーフレットは英語版もあり、ホームページからダウンロードしていただけます。

<http://www.nwec.jp/jp/program/research/page03.html>

<掲載内容例>

教 育：大学で理工系を専攻する女性の数・割合は少ない
生 活 時 間：日本の男性の家事・育児時間は、EU諸国と比較すると極端に短い

労働と所得：男女賃金格差はわずかに縮小しているが、女性はなお男性の65%である。



「地域における男女共同参画を推進する女性のネットワーク ーネットワークの形成と国立女性教育会館のかかわりを中心にー」 刊行

平成21年度「地域活性化に向けた男女共同参画推進に関する調査研究」の報告書として、「地域における男女共同参画を推進する女性のネットワーク ーネットワークの形成と国立女性教育会館のかかわりを中心にー」を刊行しました。

女性団体の男女共同参画推進に関わる社会活動やそのためのネットワーク形成に、国立女性教育会館がどのようにかかわってきたかについて着目した調査研究の結果をまとめたものです。

本調査研究では、ヒアリング調査をもとに、国立女性教育会館の研修・交流事業に参加した女性たちがネットワークを形成し、そのネットワークを活かして社会活動を行い、地域づくりに貢献する、このプロセスを学習の成果を示す1つの指標と捉えて明らかにすることを試みました。報告書には、自治体および女性関連施設を対象とした、各機関において把握しているネットワーク組織や支援をする上での課題等についてのアンケート調査の結果もあわせて掲載しています。



報告書はホームページよりダウンロードしていただけます。
<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page27.html>

「平成21年度女性のエンパワーメント国際フォーラム」 報告書刊行



報告書はホームページよりダウンロードしていただけます。
<http://www.nwec.jp/jp/publish/report/page28.html>

平成21年10月31日に実施した「女性のエンパワーメント国際フォーラム」の抄録及び「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」の成果をまとめた報告書を刊行しました。

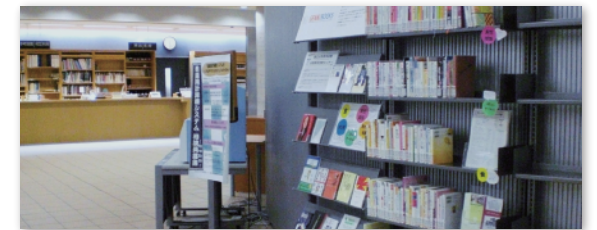
国立女性教育会館では、これまでおこなってきた人身取引に関する調査研究や内閣府委託事業である「配偶者からの暴力被害者支援セミナー」の成果をふまえ、平成21年度の国際フォーラムのテーマを「女性に対する暴力の撲滅に向けて」としました。

報告書の第Ⅰ部には、フィリピン大学女性研究センター所長のシルビア・エストラーダ・クラウディオ博士による基調講演「女性に対する暴力撲滅の取組 ーフィリピンの経験からー」の全文を掲載しています。また、第Ⅱ部では「国際フォーラム」に先だって会館が実施した「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」の研修生（11名8か国）を含めた各国の専門家による、女性に対する暴力に関する各国の現状分析と、その撲滅に向けた政策提言も掲載しています。

女性教育情報センター所蔵図書のパッケージ貸出サービスを開始

大学、女性関連施設、公共図書館等を対象に、「男女共同参画」や「女性労働問題」「女性のキャリア形成」「家族問題」「女性への暴力」など、さまざまなテーマにあわせて図書をまとめて貸し出すサービスを始めました。是非、教育・研究・学習にご活用ください。

サービス内容については、お気軽に女性教育情報センターまでご相談ください。



▲大学1、2年生の最初の学生生活をサポートするために男女共同参画、コミュニケーション、食、異性関係、大学をテーマにパッケージとして貸出した例

女性アーカイブ

女性アーカイブセンター「所蔵展示」「平成22年度企画展示」のご案内

所蔵展示

本館1階女性アーカイブセンター展示室にて、現在、以下の資料を展示しています。

●「塩ハマ子・春秋会コレクション」

昭和27(1952)年から約20年間文部省社会教育局社会教育課婦人教育係長、同局婦人教育課長を歴任した婦人教育行政の専門家塩ハマ子と、婦人教育担当者のグループである春秋会が収集した資料です。今回の展示では、当時の婦人教育担当者会議資料や婦人学級を開く人たちのための手引書などを展示しています。

●「第4回世界女性会議(北京会議)関連資料」

北京会議15周年を記念して当時のポスターや、会議の様子を収めた写真アルバムを展示しています。これに関連して、今年3月にニューヨーク国連本部で開かれた第54回女性の地位委員会参加団体の資料を本館2階女性教育情報センター前のロビーで展示しています。こちらもあわせてご覧ください。

平成22年度企画展示

平成22年8月12日(木)～11月14日(日)、「女性の実業教育のはじまり～チャレンジした女性たち～」を開催します。

明治・大正年間に女性の社会的自立を願って女性のための高等教育機関を設立した、鳩山春子(共立女子大学)、横井玉子・佐藤志津(女子美術大学)、嘉悦孝(嘉悦大学)、島田依史子(文京学院大学)を取り上げ、各大学の協力を得て、その建学の精神や、当時の社会状況をご紹介します。

詳細は国立女性教育会館 HP (<http://www.nwec.jp/>) でお知らせします。ご期待ください。



▶展示室の様子

女性教育情報センター 資料展示コーナー <1階エントランスホール>

4～6月テーマ「社会全体で子育てを支えよう」

近年、離婚や死別によるひとり親家庭、虐待を受けた子ども、障害のある子ども、定住外国人の子どもなど特別な支援が必要な子どもが増えています。そのような中、格差や貧困をなくし、その連鎖を防止していくよう、社会全体で子育てを支えることを考えるときに役立つ資料を展示しました。

*展示資料例

『仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス) レポート:日本の「働き方」が変わりはじめた。変えるのは、今』、『子育て支援のフィロソフィア:家庭を地域にひらく子育て・親育て』、『国際比較:仕事と家族生活の両立:OECDベビー&ボス総合報告書』

7～9月テーマ「増やそう!女性研究者」

平成21年版「男女共同参画白書」によると、我が国における研究者に占める女性の割合は、平成20年現在で13%にとどまっております。諸外国と比べて低いものとなっています。女性研究者のキャリア形成と支援策を考える上で参考となる資料を展示中です。是非ご覧ください。

*展示資料例

『女性研究者の活躍促進に向けて:女性研究者の支援事業取組事例』、『女性研究者を応援します!:女性研究者の活躍推進のための取組事例』、『まず歩きだそう:女性物理学者として生きる』

*展示のリストはホームページに掲載しています。

<http://www.nwec.jp/jp/center/page05.html>